

肝臓への注意報

C型肝炎は気づかないうちに進行します。

HCV NEWS



C型肝炎ウイルスは、
肝がんの原因になります。

監修

広島大学病院 消化器・代謝内科

教授 茶山 一彰 先生

abbvie

アッヴィ合同会社

C型肝炎は、がんの原因になります。

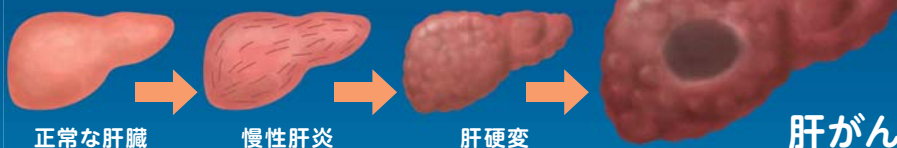
C型肝炎とは、C型肝炎ウイルスが肝臓に感染し炎症を起こす病気です。放置したままですと「^{かんこうへん}肝硬変」や「^{かん}肝がん」へ進行する可能性があります。

肝がんの原因の**65%**はC型肝炎です¹⁾。

日本では**年間約28,000人**が肝がんで亡くなっており、**がんによる死亡数でも上位に入ります**(2016年:5位)²⁾。

HCV NEWS

イメージ図



**肝がんの原因の65%は
C型肝炎**



- 1) 一般社団法人 日本肝臓学会, 肝がん白書 平成27年度, p7
https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/Liver_Cancer2015 (2018年8月23日に確認)
- 2) 公益財団法人 がん研究振興財団, がんの統計'17, p15
- 3) 日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会, C型肝炎治療ガイドライン(第6.1版), p2-3
http://www.jsh.or.jp/files/uploads/HCV_GL_ver6.1_May30.pdf (2018年8月23日に確認)
- 4) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
(独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター)
(http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/index.html) (2017年7月28日に確認)

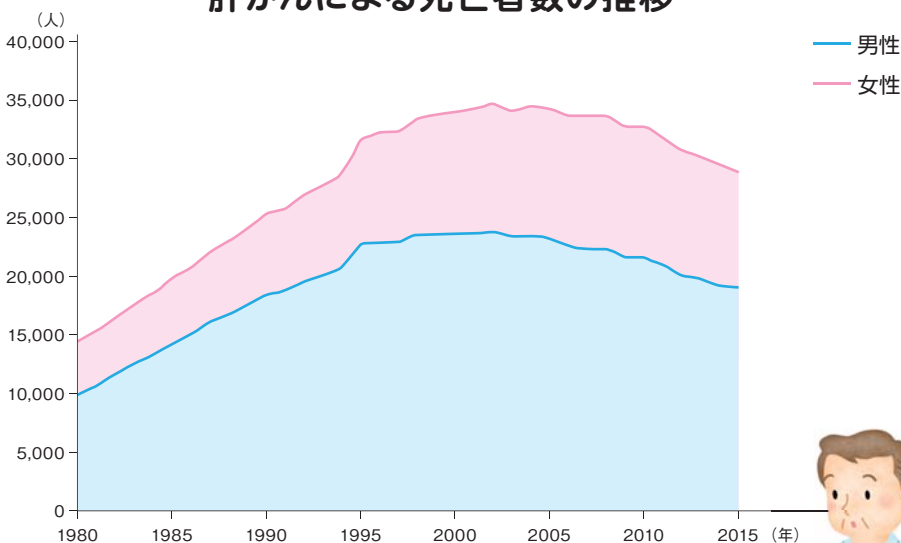
感染した人の約70%は慢性肝炎になり、 自然に治ることはほとんどありません³⁾。

一般的に、慢性肝炎に進行しても自覚症状はほとんどありません。肝機能の数値が正常であっても、気づかない間にゆっくりと肝臓の線維化が進み、肝硬変や肝がんへ進行する危険性があります。

なお、肝がんの発症率は、肝臓の線維化が進むほど高くなります³⁾。



肝がんによる死亡者数の推移⁴⁾






治療の中心は「抗ウイルス療法」で、日々

「抗ウイルス療法」は、体内からウイルスを排除する治療で、肝硬変や肝がんに進展するリスクを低下させます。

現在は、飲み薬だけを8週間、12週間、16週間、あるいは24週間服用してウイルスを排除する「インターフェロンを使わない治療」が中心に行われています。

HCV NEWS

抗ウイルス療法

飲み薬のみ		インターフェロンを使わない治療 (直接作用型抗ウイルス剤)
注射+飲み薬		インターフェロンを中心とした治療法
注射		インターフェロン



**C型肝炎は飲み薬による
治療が中心**

*C型肝炎の治療法はウイルスの種類、年齢、肝臓の状態などによって異なります。詳細は医師におたずねください。

進歩しています。



飲み薬だけの

「インターフェロンを使わない治療」は、
直接、C型肝炎ウイルスを攻撃することができる
お薬です。

C型肝炎ウイルス検査で陽性といわれた方や、
気になることがある方は、医師にご相談ください。

その他の治療：肝庇護療法

抗ウイルス療法が行えない患者さんに対して行われます。

ウイルスを排除することはできませんが、肝炎の炎症をおさえ、病気が
進むスピードを遅らせます。

対症療法

薬物療法 (肝庇護療法) <small>ひご</small>	肝細胞の破壊を防ぐ
瀉血療法 <small>しゃけつ</small>	体内の血液を外部に排出することで 症状の改善をめざす



治療には医療費の助成制度があります。

C型肝炎ウイルスの検査は、保健所や医療機関、地域や職場の健康診断で受けられます。地域によって、無料で受けられる場合もあります。

また、C型慢性肝炎・C型代償性肝硬変の抗ウイルス療法に対して、医療費を助成する制度があります。

HCV NEWS

助成の対象は抗ウイルス療法※1

- 飲み薬のみ（インターフェロンを使わない治療）
- 注射+飲み薬
- 注射のみ

自己負担上限額（月額）※2

世帯の市町村民税（所得割）課税年額	自己負担上限額（月額）
235,000円未満	10,000円
235,000円以上	20,000円

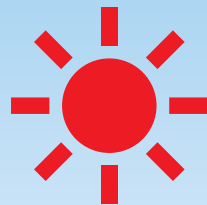
入院時食事療法・生活療養標準負担額は別途負担

**自己負担は1万円
（または2万円）※2**

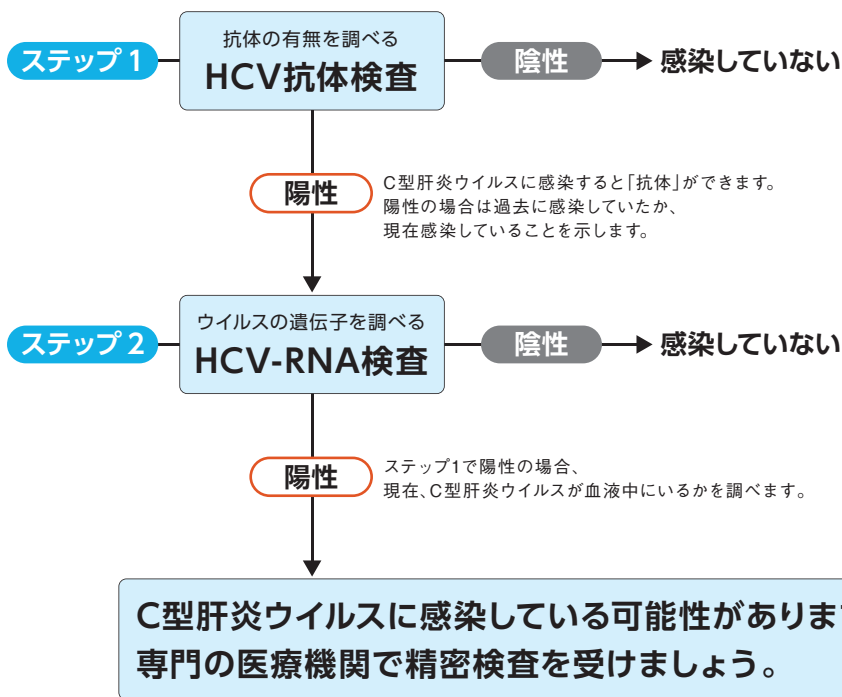
※1: 抗ウイルス療法と関係のない治療や肝庇護療法、インターフェロンの少量長期投与などの費用は対象となりません。

※2: 2018年8月現在





C型肝炎の検査には 2つのステップがあります。



平成24年度「肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究」
研究代表者：田中純子（広島大学教授）「新たなC型肝炎ウイルス検査の手順について」報告書 参照



一度はC型肝炎ウイルス検査を受けましょう。

これまでC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、一度は検査を受け、感染の有無を確認してみましょう。

特に、以下の項目にひとつでも当てはまる場合は、早めに検査を受けましょう。

- 健康診断等で「肝機能検査に異常がある」といわれた方
- 平成4年(1992年)以前に
 - ・輸血を受けたことがある方
 - ・大きな手術を受けたことがある方
 - ・フィブリノゲン製剤を投与されたことがある方
 - ・血液凝固因子製剤を投与されたことがある方
 - ・臓器移植を受けたことがある方
- 長期に血液透析を受けている方
- 入れ墨(タトゥー)をしている方
- ボディピアスを施している方



厚生労働省医薬食品局血液対策課、C型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ(フィブリノゲン製剤納入先医療機関名の再公表について)
<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0117-2/index.html> (2018年8月23日に確認)

医療機関名